



桃蹊堂(備前焼)

二十六代・木村桃山

作陶展

伝統と革新

9月26日～10月15日

彩遊の号 No.48
 一社)愛海詩
 会報
 令和5年9月20日発行
 編集発行人/一般社団法人愛海詩
 佐藤 睦子
 〒064-0821
 札幌市中央区北1条西28丁目2番17号
 TEL・FAX/(011)613-1112
 WEBSITE
 https://i-emishi.com/
 E-mail:issya@emishi-s.com



創作中の木村桃山氏

〔一社〕愛海詩設立、 ギャラリー愛海詩二十五周年

その歩みは緩く、頼り無げに揺れているように見えていたかも知れませんが、反面、それ故に比較的長く守られて来た、ギャラリー愛海詩と言えます。

厳しいコロナ禍を乗り越えつつ、今年、令和五年、ギャラリー愛海詩は創立二十五周年を迎え、新たに一般社団法人愛海詩を設立致しました。一般社団法人愛海詩は愛海詩の会が基です。会員あってこそ「愛海詩」です。お支え下さる会員をはじめ、陰に陽に心を寄せて下さるみな様に心より感謝申し上げます。これからは、会員お一人、お一人に心を致し、みな様に喜んでいただけたら幸いです。新たな愛海詩に取り組みたいです。頼り無げに揺れるにも今後、物事の昇華を思い、情熱をもって冷静に対処して行かなければと思えます。

先日、九月二日、徳川記念財団の理事長でもあられる、徳川家広氏と生物学者の福岡伸一氏をお迎えし、記念行事を開催致しました。多くの喜びの声が寄せられ、一つの関を無事に勤め上げた事に、スタッフ一同、有難く、うれしく思っております。両氏には研ぎ澄まされた教養があります。それによりご自身の心を融通無碍に遊ばせる・・・というこゝとまでできるわけです。そして「愛海詩」という言葉です。魅力的かつ的確な言葉で表現できるという言葉の達人でもあります。私は、みな様と共に少し、そんな学びの泉を汲ませていただきました。

さあ、休む間もなく、「愛海詩」は備前焼二十六代・木村桃山氏を迎え、新たな関に立ちます。木村桃山氏は、技、心共に申し分ない職人です。ギャラリー愛海詩二階での作品展、是非ともご覧下さいませ。

「愛海詩」は北海道への文化的働きを胸に、新たな頁を記し続けて参ります。そして、これからは「愛海詩」がみな様に必要とされ続けますよう、励んで参ります。

(佐藤 睦子)

木村桃山氏は9月28日(木)～10月1日(日)14時～17時までギャラリー愛海詩におります。

和みのお茶会・お誘い

二十六代・木村桃山氏、ギャラリー愛海詩で4回目の作陶展です。流派を問わずどなたでもお気軽に参加できる和やかなお茶会です。

日時 9月29日(金)、30日(土)、10月1日(日) (各日共に14時～16時)
 チケット代金 3,500円(お茶、お菓子、木村氏のお話し、おみやげ付)
 人数 各日、先着4名様(ギャラリー愛海詩へご予約下さい。)

9月28日(木)、午前11時から約1時間、FMラジオカロス札幌78.1MHz「木曜而今」の番組に木村桃山氏が出演されます。是非、お聞きくださいませ。(9月30日土曜日午前11時から再放送、リスンラジオのアプリでも聞くことができます)

- ### 桃蹊堂の歴史
- ・備前藩主池田侯より御細工人として藩御用を賜る。
 - ・東宮殿下に龜香合献上。(一九二六年)
 - ・昭和三年御大典瓶の御製。(一九二八年)
 - ・宮内省御用、大禮使御用を賜る。
 - ・閑院宮殿下御買上。(一九二九年)
 - ・昭和天皇花瓶御買上。(一九三〇年)
 - ・高松宮、同妃両殿下御買上、献上。
 - ・平成御大典瓶の御製。(即位の礼)
 - ・靖国神社(九段)御神杯御製。
 - ・伊勢神宮御奉納。
 - ・伝統産業功労者として表彰。
 - ・通商産業大臣より表彰。
 - ・広島通商産業局長より表彰。
 - ・中国経済産業局長より表彰。
 - ・経済産業大臣より表彰。

- ### プロフィール
- 1970 二十五代・木村桃山の長男として生まれる。
 - 1994 名古屋学院大学外国語学部英米語学科卒業
 - 1996 マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了(バルセロナ)
 - 2004 第8回上海国際芸術博覧会に招待出品。
 - 2010 瀬戸内国際芸術祭2010に参加。
 - 2016 バルセロナにて茶道と陶芸の国際文化交流を開催。
 - 2017 日本アルジェリア外交関係樹立55周年記念式典に招待。国立書道博物館に作品所蔵。
 - パリ、グルノーブル大学、バルセロナ・カサ・バトリヨ、在アルジェリア日本大使公邸にて作品展示と講演会開催。
 - 2018 日仏修好160周年記念事業(ジャポニスム2018)参加企画、エッフェル塔にて作品展示。
 - 日西外交関係150周年記念としてバルセロナ総領事公邸にて作品展示。
 - 2019 瀬戸内国際芸術祭2019に参加。
 - 日本清興会にて一般の部最高賞の新人賞受賞。(初出品初入賞)
 - 2021 二十六代・木村桃山襲名(全国各地にて襲名記念展開催)協同組合備前焼陶友会理事に就任。
 - 日本清興会にて清興大賞受賞。
 - 2022 第1回法基陶磁国際公募展入選。(韓国)

- ### 所属団体
- ・備前陶友会(理事)
 - ・備前陶心会(特別会員)
 - ・清興会(会員)
 - ・裏千家淡交会(支部幹事、青年部バスト全国委員、知新会会員)
 - ・日仏茶道交流会(副代表)
 - ・備前市文化協会理事
 - ・備前市国際文化交流協会理事
- ### パブリックコレクション
- ・インド政府
 - ・在アルジェリア日本大使館
 - ・在バルセロナ日本総領事館
 - ・国立書道博物館(アルジェリア)
 - ・在フランス日本大使館
 - ・在カンボジア日本大使館

『桃蹊堂の謂れ』桃李不言下自成蹊
 (桃李もの言わざれども下のおのずから蹊を成す)
 司馬遷『史記』李將軍列伝によります。

茶道具、花入、日常使いの器など約五十点を展示しております。珠玉の作品は一期一会の素敵な作品です。作品、木村桃山氏にも出合っていたら幸いです。心よりお待ちしております。

〔二〕挨拶／作品展によせて

桃蹊堂・二十六代 木村 桃山

二〇二三年になり、コロナ禍がようやく緩和され、あらゆる活動が再開されるようになってきました。しかし、気候も変化があり、今年は全国的に猛暑であったり、線状降水帯による水害で甚大な被害が各地で発生しております。

ただ悲しいことばかりではなく、今年には愛海詩様が創立二十五周年でもあり、一般社団法人として新たに発表されますこと大変慶ばしいことでもあります。そのような素晴らしい年に作品展をさせていただくことになり、光栄に存じますとともに、制作意欲が湧いてきます。

愛海詩様では二〇一六年に初めて個展をさせていただいてはや七年。来年は作陶三十周年を迎えることになりました。そのような活動の中、私が所属します備前焼陶友会では理事を務めてから三年目が経ち、今期より市場開拓・T関係委員会委員長を拝命し、備前市の文化協会や国際文化交流協会の理事など活動範囲も広がった分、責務ある立場になり、身の引き締まる思いでいっぱいでありました。また清興美術協会では全国公募展にて清興大賞を特に近年精力的に研究を続けております水指で受賞いたしました。様々なジャンルで皆様には気にかけていただき、これからの益々日々精進して参りたいと存じます。

今年もまた新しくなりました愛海詩の役員、会員の皆様をはじめ、北海道の皆様は備前焼の新作をご高覧賜りますようご案内申し上げます。



広口花器
 (巾22cm×奥行12cm×高さ22.5cm)
 どこかユーモラスな形なのですが、花を優しく包んでくれるような形です。正面の緋色の景色に物語を感じます。



水盤
 (巾29.5cm×高さ8cm)
 土と水、自然の中に咲いているような風情、その時々を豊かに彩ります。美と遊ぶ心が満たされて行く作品です。



備前緋色花器
 (巾20cm×高さ24.5cm)
 茶の湯の造形展入選作品です。耳付きの静かな佇まいの中に緋色の窯変が浮かびあがります。ここに一つの小宇宙が見えます。



窯変花入
 (巾13.5cm×高さ27cm)
 秋の野の花が一際、映える器、楚々とした美しさが窯変の動きと呼応し合い、花を包み込みます。



片口・青い呑
 (ぐい呑サイズ高さ4.3cm×巾6cm)
 秋も深まって行く中、このような酒器で豊かなひとときを過ごしたいと思えます。長く側に置いて使いたい器です。



緋色茶盞
 (巾12.8cm×口径11.8cm×高さ9.3cm)
 こっくりと手に馴染む質感から緋色の美が浮かび上がり、光に導かれるような唯一無二の茶盞です。



茶盞
 (口径13cm×高さ8.2cm)
 ゆらぎある形が動と静の態をうつし出し、掌に乗せた時、優しく語りかける真の声を聴かせてくれるような茶盞です。



輪花皿
 (巾20cm×高さ1.7cm)
 自然を切り取ったような色、形、桃山氏ならではの輪花皿です。使う時に想像力が掻き立てられる器です。